

● ● ●
合併記念—特別展

渡辺崋山・椿椿山が描く 人物画



渡辺崋山筆◎重要文化財「市河米庵像」
(京都国立博物館蔵)部分【展示期間 9/3～10/2】

わたなべ かわざん
渡辺崋山(1793—1841)は、三河国田原藩士の子として江戸に生まれた。蘭学にも精通したが、絵画においては、谷文晁に入門し、南宗画や南蘋画、西洋画法を学び、人物画とくに肖像画を中心に優れた作品を遺している。崋山の肖像画は、文人画家として、写実の追究の観点から描かれ、東洋の伝統的画法に西洋画法を組み込んだその作品群は、19世紀に到達した日本肖像画技法の大成として注目される。崋山の描いた「人物画」は、まず人物を目の前にして、「対面写照」により、西洋的な陰影をほどこして、その面貌を立体的に写生し、その人間性をとらえた作品の評価が高く、歴史上の人物を粉本などに則し、描写したものや中国故事を描いたものが数多くある。文政年間に入ると、実在の人物を描いた一肖像画を描くようになり、最後に描いた作品も「黄梁一炊図」という人物を主題とした作品であったことも有名なことである。崋山は武士・思想家としての面

リアリスム 19世紀の迫真に出会う

19世紀、鎖国体制の日本で
真に迫ろうとした武士がいた。
その人は洋学を学び、また画家でもあった。

13点の重要文化財、
9点の重要美術品を含む約60点を公開



椿 椿山筆◎「椿椿山自画像」(上野記念館蔵)部分

も持ち合わせ、その交流から描くべき人物も特定されるのも特徴的である。

渡辺崋山が創出した肖像画様式を引き継いだ唯一の弟子と考えられる椿椿山(1801—54)の作品とあわせて「19世紀の迫真」を体感できる。

なお、会期中には作品の展示替がある。

9月13日(火)～10月16日(日)【同時開催】

◆特別陳列 重要文化財 孔門十哲

◆特別記念講演 演題「渡辺崋山と周囲の人々」【入場無料】

講師 コロンビア大学名誉教授 ドナルド・キーン氏

10月11日(火)午後1時30分から 崋山会館

2005年

9/3(土)～10/16(日)

【9月3日(土)は午前11時30分から】

◎休館日／毎週月曜日

ただし、9月19日・10月10日は祝日のため、開館し、

9月20日・10月12日は休館します。

8月30日～9月2日、10月17日～20日までは展示替のため、休館します。

◎開館時間／午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

◎観覧料／一般700円(560円)小・中学生無料

()内は20名以上の団体割引料金です。

※10月1日(田原市と渥美町の合併)

10月11日(崋山大祭)は無料公開します。

主催●田原市・田原市博物館・財団法人崋山会・中日新聞社

後援●愛知県教育委員会・NHK名古屋放送局

田原市博物館